

My Photo Corner

私は誰でしょう



HAPPY BIRTHDAY

7月19日 藤間 孝夫君

MENETTES HAPPY BIRTHDAY

7月26日 藤井 正子さん

WEDDING ANNIVERSARY

7月21日 綾野 憲夫君 裕子さん

熱海YMCA俳句六月例会

兼題なし

見上ぐれば見つめてくるる山法師
紫陽花はうつむきかげんなに耐へ
猫の子やトイレのしぐさはや覚え
紫陽花の花の重さや雨しきり
万緑の山より高く鳶の舞ふ
長年の向友去りゆく梅雨しぐれ
風薫る森にシヨパンを聴きにゆく
万緑や噴き上がりたるけむり

博のり夫
隆吉
道子
銀次郎
正子
治和子

第1回 役員会報告

書記 宝田昌孝

2018 年7月2日(月) 熱海 YMCA センター

勝又会長挨拶:
役員慰労会では賑やかに最終例会を過ごすことが出来有難うございました。
「クラブ運営は将来を考慮しながら体力に合った奉仕活動に精進したい」を方針として今期活動します。

議題:
1 初例会の件:初例会はクールビズの服装で出席
各委員には活動についてのの意見を述べて頂く
2 合同記者会見の件: 7月5日 YMCA センターにて
13時30分より
熱海新聞、伊豆毎日新聞、伊豆急ケーブルネットワー
ク 3 社の合同記者会見を行う。ホスト熱海クラブ。
3 その他
退会者は、井堀節夫君、増田忠治君の2名
半年報は、17名うちシニア2名、正会員15名で
今期はスタート。

*委員会報告
プログラム:来賓ご挨拶のお願い:富士山部部長公式
訪問:各クラブ会長挨拶
ドライバー:各クラブの初例会出席要請
会報・広報:校正17日(火)19時、発送18日(水)
暑中見舞い3社掲載
親 睦:特に無し
CS・TOF:特に無し
YMCA・ASF・EMC・会則:特に無し
BF・EF・IBC・DBC・YEPP:DBC交流会は、熱海グロー
リークラブがホスト。
日程について日時の調整をする。
出席者; 勝又、宝田、藤間、小野田、陣内、綾野、加藤、

今後のイベント情報

◎初例会開催案内
7月9日(月) 伊東クラブ 暖香園 18時30分～
7月10日(火) 沼津、三島、御殿場クラブ合同例会
ニューウェルサンピア 18時30分～
7月11日(水) 富士、富士宮クラブ合同例会
ホテルグランド富士 18時30分～
7月18日(水) 下田クラブ;下田東急ホテル 18:30～
7月23日(月) 熱海クラブ;KKRホテル熱海 18:30～
◎納涼例会(場所、時間未定) 8月例会

2018年 8月 納涼例会担当予告

例	会	8月22日(水)	会	場	未	定
受	付	陣内 康策君		高橋 四郎君		
司	会	高橋 敏雄君	開会の祈り	宝田昌孝君		
		ワイズの信条	中田 稔君	食前の祈り	藤井銀次郎君	

国際会長主題
“Yes, We can chage”
『私たちは変えられる』
東日本区理事主題
『為せば、成る』
“No challenge, NO fruit”

今月の聖句
主に望みを置く人は新たな力を得
驚のように翼を張って上がる
走っても弱ることなく
歩いても疲れない
イザヤ書40章31節

アジア地域会長主題
“Action”
『アクション』
富士山部部長主題
『生き活き!ワクワク!仲間と共に!』

クラブ会長主題『奉仕は、元気で仲良く』『The Service with Lively and Friendly”

2018年度7月初例会プログラム			
日	時	7月 25日(水)	18:30～21:00
会	場	KKRホテル熱海	
受	付	鈴木 健之 君 加藤 博 君	
司	会	菅谷 正 君	
開	会	点鐘	会 長 勝又 隆吉 君
聖	句	朗読・開会の祈り	鈴木 規雄 君
ワ	イズ	ソング	全 員
ワ	イズ	の信条	綾野 憲夫 君
会	長	挨拶・ゲスト・ビジター紹介	会 長 勝又 隆吉 君
来	賓	挨拶	熱海市長 齋藤 栄 様
		県議会議員 藤曲敬宏 様	
		東日本区直前理事 栗本次郎 様	
富	士	山部長公式訪問挨拶	渡邊 実帆 部長
		会食	
食	前	の祈り	小野田 政弘 君
乾	杯		加藤 博 君
東	日	本区事業主任挨拶	
富	士	山部事業主査挨拶	
各	ク	ラブ会長挨拶	
書	記	報告	書 記 宝田 昌孝 君
委	員	会報告	担当委員会
各	ク	ラブアピールアワー	各クラブ
誕	生	日・結婚記念日祝	司 会 者
ス	マ	イル	親睦委員会
出	席	・スマイル・Y基金報告	担当委員会
閉	会	の言葉	藤曲 敬宏 君
閉	会	点鐘	会 長 勝又 隆吉 君

度の勝又会長、宝田書記、陣内会計の3名に感謝状が贈呈され皆の感謝の拍手を浴びて例会第一部が終了致しました。

6 月 例 会 実 績			
在籍者	18 名	(内セニア会員 1 名)	スマイル&YMCA 基金
出席者	14 名	ゲスト 0 名	スマイル 20,000 円
メーキャップ	名	ビジター 0 名	スマイル累計 220,990 円
出席率	93%	メネット 0 名	YMCA 基金 4,167 円
月訂正出席率	%	出席者合計 14 名	YMCA 基金累計 45,764 円
			BF 目標 1 人 8,000pt
			現金 pt 切手 P
			6 月 14,000 円
			累 計 178,000 円
			総 計 円



2017~2018 年度
6月 最終例会 定時総会

第1部に続き定時総会が開催されました。
会員(18名)の過半数(9名)以上の出席で総会が成立
勝又会長の司会で始まり2018年7月1日~19年6月30
日の熱海グローリークラブ事業計画とスローガン「奉仕
は、元気で仲良く」の承認について
は、会計の備考欄に誤記があり訂正し、そのほかと共に出席者全員の拍手で承認されました。



6月 最終例会 第2部

定時総会が終了し第2部の今期役員の慰労会と新入
会員:高橋四郎 Y's の歓迎会となりました。
司会は菅谷 Y's
で勝又会長からの挨拶があり楽しい会と美味しい料理でスタートいたしました。食前の祈りを藤間孝夫 Y's
から頂き、乾杯の音頭を幹事の加藤博 Y's から頂きました。食事が始まり中華料理を食べながらのスマイル。鈴木規雄 Y's は、グローリーの皆様に妻の葬儀でお世話になりましたとスマイル。他の人もそれぞれスマイル。



高橋四郎 Y's の音頭でカラオケが始まり
加藤 Y's の酒と泪と男と女、小野田 Y's の酒よ、中田 Y's 、陣内 Y's 、鈴木健之 Y's 他、で盛り上がりました。



カラオケの機器が、最初にうまく作動できずホテルの対応ですぐほかの機器との交換をして頂きました。(使用前のチェックが足らなかったことを反省:ドライバー委員)



合同記者会見報告

会報・広報委員長 綾野憲夫
7月5日(木)午後1時半より YMCA センターに於いて、熱海新聞、伊豆毎日新聞、伊豆急ケーブルネットワーク3社を招聘し熱海クラブとグローリークラブの合同記者会見を開催しました。本年度のスタートに当たり、両クラブの今年度の事業計画を報道各社に説明し、広報活動への理解と協力をお願いする趣旨で開かれたものです。

今年は熱海クラブが幹事となり司会を行いました。
熱海クラブの新会長梅田邦彦氏の挨拶、グローリークラブ勝又会長の挨拶に続き配布された事業計画に基づき両クラブ担当副会長より事業の説明が行われました。続いてその内容について記者側との質疑応答の時間がありました
が、グローリークラブはいくつかの事業の縮小について継続を第一としながらも体力に見合った事業展開を図っていくと説明しました。



↑両クラブの執行部(写真提供 伊豆毎日新聞)

西城秀樹と YMCA

本年4月に亡くなられ西城秀樹さんは1979年のヒット曲「Young Man」でY M C A(ワイエムシーエー)という歌詞と振りによって日本全国に YMCA の名前を広めることに貢献しました。
そのきっかけは渡米中の西城さんがヴィレッジ・ピープルというグループが歌ってヒットしていた「Young Man」の曲が気に入り、カバー曲として歌ったものです。しかし、当時はその歌の背景にあったメンバー達がホモであったことと YMCA の施設がホモ文化の象徴とされていたことを知りませんでした。
性における先進文化国のアメリカではこの歌がヒットランキング誌ビルボードで上位にランクされるほど普通の事だったと言うことです。日本でもこの事が報道されましたが、私達も歌そのものの素晴らしさに惚れ、後ろ向きの話には影響されなかったのです。

新年度初例会訪問記

会報・広報委員 小野田政弘
7月に入り各クラブとも初例会が開催されています。7月9日伊東クラブ、7月10日沼津クラブ・三島クラブ・御殿場クラブ合同例会、7月11日富士クラブ・富士宮クラブ合同例会の様子を報告します。
伊東クラブの新会長は山田光彦氏です。神輿に縁のある方らしく若友会の神輿に乗って登場という演出が目を引きました。富士山部での最初の例会とあって賑やかに行われ、渡邊実帆富士山部長も初の公式訪問になりました。



続いて10日は沼津・三島・御殿場の合同例会でした。
沼津は泉文雄新会長
三島は藤田小夜子会長の留任、御殿場は

若林久美子新会長になりました。



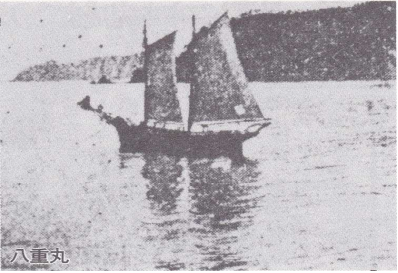
この3クラブには共通して女性の活躍が目覚ましいという特徴があり、時代を先取りするクラブではないかと強く感じて帰りました。
その後は11日の富士・富士宮の合同例会です。
富士クラブは増田隆会長の再登板、富士宮クラブも山本昭宏会長の再登板です。こちらのクラブは富士山の名水のお陰もあり、いつもおいしい日本酒が振る舞われ



るので訪問する側はついつい期待して出かけてしまいます。

「軌跡 丹那トンネル 完成までのミステリー」復刻版⑦

今回は、丹那トンネル工事の資材運搬に貢献した玉久運送店の話をいたしましょう
創業者故野田久七氏は、慶応元年、帆船「八重丸」を江戸・下田間に周航させ、旅客や網代港の鮮魚などの運送を始めました。伊豆の産業の発展と共に、次々と新しい船を造り熱海唯一の回漕店として栄えました。



明治十九年には、熱海御用邸の建材の運搬もしましたし、明治四十四年には東京第一衛威病院熱海分院(現在の国立熱海病院)の資材も海路を運ばれました。

大正五年には、丹那トンネル工事の資材、機械、砂利などの運搬を担当しました。大正九年には、逓信局より郵便物の運送も委託されています。



(今井写真館 蔵)

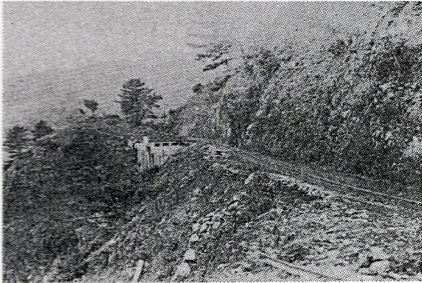
大正十二年の関東大震災の時には、陸路を断たれた熱海にとって、大きな役割を果たしてくれました。この震災で二代目野田久七氏は荷揚げ場に駆けつけようとして、津波に襲われて亡くなられました。

また、当時鉄道院嘱託医だった山形文雄医師はトンネル工事のため、この船便で米沢から熱海へ到着されました。この海路交通のおかげで、多くの工事関係者や政財界人、そして文人も訪れて、熱海はますます発展しました。

参考文献
「運送業の歴史の歩み」 野田糧作
「熱海の人たち」 山田兼次

関東大震災の被害

大正12年の関東大震災は熱海・小田原間の軽便鉄道を破綻に追い込みました。写真からは山腹のレールがわずかに残されているのが読み取れます。



〔国道135号(熱海市伊豆山東谷)〕